

JA職員紹介

名前：齋藤 慶汰 (さいとう けいた)

配属先：板柳基幹支店板柳基幹グリーンセンター

出身地：板柳町

好きな農産物：桃・ぶどう・りんご

■特技・趣味

車を運転して、遠出をすることが好きです。また、中古車販売アプリで様々な車を見ることも好きです。

■休日の過ごし方

主にゲームをして過ごしていますが、最近は実家の畑仕事を手伝っています。

■意気込み

自分にできることはまだ限られていますが、積極的に取り組んで一日でも早く仕事に慣れるようにしたいです。また、毒物劇物取扱者や簿記など様々な検定や資格の取得に努めて、仕事に役立てたいです。



読者の声

少子化の中、子供達が農業に触れる事は貴重な体験だと思います。農業に関わる子供が増えることが、県農業を支えていくことなのかなと思います。

(平川市 K・T 48歳)

④ 農作業を体験した子供達は、将来農業をやりたいと話します。未来の農業者を応援しましょう!

だんだん忙しくなり、今年のリんごもぎも始まります。頑張ります。

(黒石市 G・T 66歳)

④ 収穫作業の様子を見ると、生産者の方々の努力が伝わります。りんごをこご待ちにしている方々のために、最後まで頑張らましよう!

体の各器官は動かさないと疲労も溜りやすく、能率も低下します。「手軽に健康」の手指体操で脳を刺激できました。

(平川市 T・T 67歳)

④ 健康を保つためには運動は大切です。適度に運動し、体調を整えましよう!

毎月レシピの記事はとても楽しみにしています。

(大鰐町 Y・H)

④ 今月は、にんにく料理のレシピをたくさん掲載しております。ぜひ参考にしてくださいね♪

春から親戚(実家等)のリんごの作業を手伝い始めました。今、紅葉を見ながら収穫できる幸せを感じています。

(黒石市 K・K 64歳)

④ 春からの作業お疲れ様でした。ご自分が手掛けたりんごを食べるのが楽しみです♪

10月号のテーマ「りんご」をご紹介します♪

我が家では頂いたりんご(10箱くらい)は、家族みんなで完食します。1人2個くらいは食べます。冬を越し、春になると今度はジュースに加工したり、お菓子作りをしたり、煮りんごにしたりして食べます。日本一のリんごは、津軽のリんごです。

(平川市 K・M 64歳)

いろいろな果物が大好きです。でも、ずっと食べているりんごが一番かな?りんごは私の王様です。以前は紅玉が一番好きでしたが、今は様々な味があり、一番は決められないです。

(黒石市 S・M 68歳)

今ではりんごもたくさん種類が増えましたが、私はやっぱり「ふじ」が一番大好きです!!程良い酸味とスッキリというかサッパリする後味が最高です♡

(平川市 A・Y 30歳)

いろいろな種類のリんごがあって、名前を知るのが大変。友達から「おいらせ」というりんごをもらって、おいしかったよ!

(黒石市 K・K 70歳)

「ふじ」を1番よく食べます。タジン鍋を使って、レンジでチンしたり、アップルパイがおいしいです。

(黒石市 M・M 60歳)

りんごは健康によいと言われていますが、皮をむいて食べる人が多いと思います。むく時にナイフを必要とするが、面倒です。りんごとみかんを比べると器具を使わないみかんの方が手軽に食べれます。ゆで玉子を輪切りにする器具の大きいパージョンがあれば、輪切りのりんごを皮ごと無駄なく食べれるのでは?

(板柳町 M・Y 53歳)

今月のテーマは「2019年私のニュース」です。平成から令和になったりと2019年も様々な出来事がありました。皆さんのニュースを教えてください。